

# 意見交換

## 1 議論いただきたいこと

### (1) 人口流入、人口流出について【意見交換参考資料 1】

⇒東京圏に進学した若者を呼び戻す、東京圏から新たな若者を呼び込む、浜松を離れることなく就職など、若者を増やす、減らさないためにそれぞれの立場で何ができるだろうか。

### (2) 浜松バレーについて【意見交換参考資料 2】

⇒ものづくりに関連するベンチャー企業の誘致、市内ベンチャー企業の成長支援、市内での創業支援等を通じて、ベンチャー企業が集積する「浜松バレー」の実現に向けて、産学官金労言民でそれぞれどんなことができるだろうか。

### (3) 外国人材の活用について【意見交換参考資料 3】

⇒外国人集住都市会議の開催をはじめ、多文化共生のまちづくりをリードしてきた本市として、人口減少社会の到来による構造的な人手不足が懸念される中、外国人材が地域の経済活動において活躍し、また地域の一員としての役割を担うため、どのようなことを発信できるだろうか。

## 2 議論の視点

- ✓ 企業・団体ができること
- ✓ 自治体ができること
- ✓ 広域でできること
- ✓ 個人でできること

## (1) 人口流入、人口流出について

### 現状

- 本市の人口は、2008年をピークに減少局面となっている。また、2008年までは社会動態、自然動態ともに増加していたが、社会動態は2009年に社会減に、自然動態は2011年に自然減に転じており、現在は社会動態、自然動態の双方とも減少となっている。[人口ビジョン]
- 人口移動の状況を年齢階層別に見ると、15-19歳の転出増に加え、直近では、30歳代など働き盛り世代も転出増となっている。特に、2014年では30-40歳代男性の転出、20歳代女性の東京圏への転出が目立っている。[人口ビジョン]

### 意見交換において、ご提案、ご議論いただきたいこと

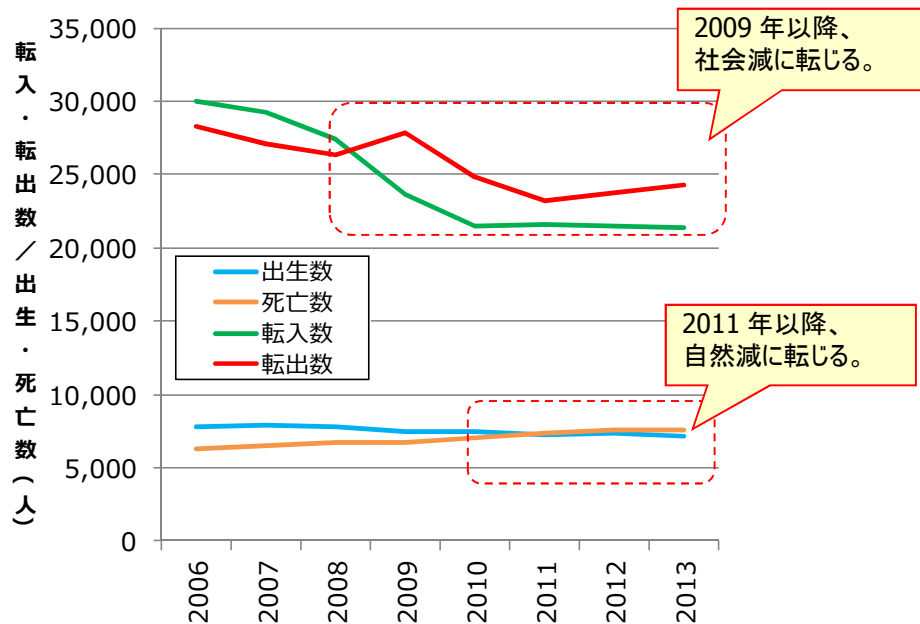
- 人口ビジョンでは、「2020年までに東京圏との社会移動の均衡」を目標に掲げた。
- 東京圏に進学した若者を呼び戻す、東京圏から新たな若者を呼び込む、浜松を離れることなく就職など、若者を増やす、減らさないためにそれぞれの立場で何ができるだろうか。

浜松市の自然動態、社会動態の推移 (人)

年次	総人口	出生数	死亡数	自然増減	転入数	転出数	社会増減
2006	820,548	7,814	6,335	1,479	29,969	28,319	1,650
2007	824,057	7,856	6,524	1,332	29,280	27,103	2,177
2008	826,168	7,818	6,761	1,057	27,367	26,313	1,054
2009	822,716	7,445	6,754	691	23,653	27,796	△4,143
2010	819,842	7,466	7,050	416	21,497	24,787	△3,290
2011	818,089	7,277	7,367	△90	21,589	23,254	△1,665
2012	815,614	7,380	7,599	△219	21,533	23,789	△2,256
2013	812,286	7,169	7,565	△396	21,376	24,309	△2,933

資料：浜松市「浜松市統計書」を基に作成。数値には外国人を含む。

県外転入・県外転出には帰化や国籍取得、国籍離脱などによるその他の増、その他の減を含む。



資料：浜松市「浜松市統計書」を基に作成。数値には外国人を含む。県外転入・県外転出には帰化や国籍取得、国籍離脱などによるその他の増、その他の減を含む。

浜松市の出生数・死亡数、転入数・転出数の推移

## 静岡県の進学、新卒就職に伴う流入・流出人口 (人)

## 進学

	地元進学	県外から流入(A)	県外へ流出(B)	A-B
男	2,600	2,100	7,600	△5,500
女	3,400	1,300	5,700	△4,400
計	6,000	3,300	13,300	△9,900

## 新卒就職

	地元就職	県外から流入(A)	県外へ流出(B)	A-B
男	16,700	6,800	2,100	4,700
女	7,500	2,500	1,200	1,300
計	24,200	9,300	3,300	6,000

資料：地域経済分析システム(RESAS)を基に作成。時点は、2014年。

RESAS 内で端数処理などを行っているため、数値間での整合の取れない箇所がある。

## 昼夜間人口 (人)

	平成 2 年			平成 22 年			
	夜間人口	昼間人口	昼夜間人口比率		夜間人口	昼間人口	昼夜間人口比率
計	751,230	759,720	1.01	浜松市	800,866	798,622	1.00
旧浜松市	534,354	563,314	1.05	中区	238,477	256,339	1.07
				東区	126,609	125,152	0.99
旧舞阪町	11,492	9,008	0.78	西区	113,654	101,988	0.90
旧雄踏町	13,841	10,381	0.75				
旧可美村	13,255	15,753	1.19	南区	102,381	101,468	0.99
旧細江町	19,960	18,651	0.93	北区	94,680	97,144	1.03
旧引佐町	15,115	13,145	0.87				
旧三ヶ日町	16,507	15,092	0.91				
旧浜北市	81,144	70,023	0.86	浜北区	91,108	84,559	0.93
旧天竜市	24,519	23,928	0.98	天竜区	33,957	31,972	0.94
旧春野町	7,372	7,185	0.97				
旧龍山村	1,619	1,568	0.97				
旧佐久間町	7,444	7,231	0.97				
旧水窪町	4,608	4,441	0.96				

資料：「国勢調査」第1表 常住地又は従業地・通学地による人口(夜間人口・昼間人口)を基に作成。

昼夜間人口比率 = 昼間人口を夜間人口で除して得た数値

- 国の定住自立圏構想や連携中枢都市圏構想において、昼夜間人口比率がおおむね 1 以上であることが、各構想における「中心市」「連携中枢都市」の要件となる。
- 周辺自治体から通勤者、通学者が流入することで、夜間人口に比べ、昼間人口の多いことが圏域において拠点性があるとみなされる。

## (2)「浜松バレー」について

### ✚ 浜松バレーとは

- アメリカのシリコンバレーの浜松版。ベンチャーの集積やコミュニティづくりの環境が整うことで、次々と新たなベンチャーが生まれる好循環を目指すもの。

### ✚ 現状

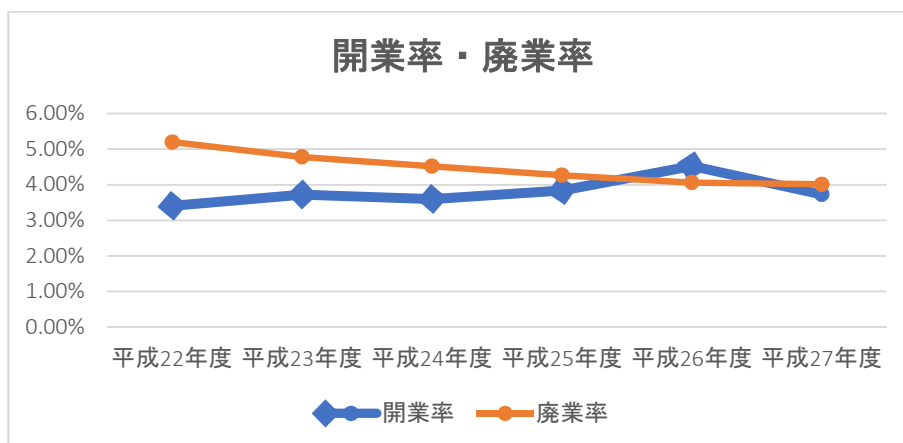
- 本市は、ものづくりを基盤に発展し成長を遂げてきたが、地域産業を取り巻く社会的・経済的な環境が大きく変化している。
- 政府が公表した「未来投資戦略 2017」では、「Society5.0」の実現に向け、ベンチャーの役割に期待されている。
- 本市では、時代の進展に対応した産業政策に対応するため、「はままつ産業イノベーション構想」を H29.3 に改訂し、「創業・ベンチャー支援」を戦略の一つとして進めている。
- 「創業・ベンチャー支援」として、創業間もないベンチャー企業から、株式公開を目指すベンチャー企業まで、さまざまステージにおいて成長の後押しするとともに、企業間のネットワークの強化や起業家マインドの育成などを総合的に取り組むことで、ベンチャー企業が集積する「浜松バレー」の実現を目指している。

### ✚ 意見交換において、ご提案、ご議論いただきたいこと

- ものづくりに関連するベンチャー企業の誘致、市内ベンチャー企業の成長支援、市内での創業支援等を通じて、ベンチャー企業が集積する「浜松バレー」の実現に向けて、産学官金労言民でそれぞれどんなことができるだろうか。

### ◆開業・廃業の推移

本市の開業率は、平成 22 年度から平成 25 年度まで 3%台で推移し、平成 26 年度は 4.53%と上昇したが、平成 27 年度は 3.73% と下降し、また、廃業率を下回っている状況である。



項目		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
開業	設立	448	465	454	506	647	530
	設置	291	330	302	296	296	250
	計	739	795	756	802	943	780
廃業	休業	163	149	127	132	101	92
	解散	420	384	336	333	334	323
	廃止	282	251	251	226	205	226
	清算終了	262	235	236	200	206	197
	計	1127	1,019	950	891	846	838
法人社数		21,324	21,021	21,034	20,864	20,831	20,889
開業率		3.41%	3.73%	3.60%	3.84%	4.53%	3.73%
廃業率		5.20%	4.78%	4.52%	4.27%	4.06%	4.01%

資料：平成 28 年版 浜松市の市税のすがた【資料編】

## ◆産業分類（中分類）別事業所数・従業者数・製造品出荷額等の状況

本市は、平成 26 年工業統計調査によると、事業所数 2,104、従業者数 70,032 人、製造品出荷額等 20,058 億円を誇り、静岡県総出荷額等 160,507 億円の 12.5%を占めるなど、東海地域屈指の工業都市として発展を遂げている。

産業	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)
	平成 26 年	平成 26 年	平成 26 年
食料品製造業	148	5,596	7,016,364
飲料・たばこ・飼料製造業	25	499	10,444,710
繊維工業	141	2,065	2,676,207
木材・木製品製造業(家具を除く)	79	1,237	2,289,172
家具・装備品製造業	45	815	1,182,677
パルプ・紙・紙加工品製造業	34	649	1,352,380
印刷・同関連業	60	1,391	2,555,753
化学工業	9	175	543,348
石油製品・石炭製品製造業	7	95	395,195
プラスチック製品製造業	141	4,101	11,931,420
ゴム製品製造業	28	907	2,251,788
なめし革・同製品・毛皮製造業	5	100	162,361
窯業・土石製品製造業	49	919	1,958,565
鉄鋼業	29	628	5,497,845
非鉄金属製造業	17	661	1,688,894
金属製品製造業	236	4,744	8,634,858
はん用機械器具製造業	50	1,010	2,617,461
生産用機械器具製造業	256	7,131	17,068,644
業務用機械器具製造業	27	1,129	2,430,700
電子部品・デバイス・電子回路製造業	49	2,935	9,831,518
電気機械器具製造業	113	4,305	8,652,454
情報通信機械器具製造業	16	3,359	13,710,968
輸送用機械器具製造業	429	22,862	81,099,605
その他の製造業	111	2,719	4,584,559
計	2,104	70,032	200,577,446

(注意) ※従業者 4 人以上の事業所の数値。

資料：工業統計調査

◆本市の主な取組み

➤ **サテライトオフィス事業**

大都市圏に偏在するベンチャー企業のサテライトオフィスを本市に誘致。

＜事業内容＞

- ・浜名湖周辺及び中山間地域にサテライトオフィスを整備。
- ・市中心部にお試しオフィスを設置し、本市へのサテライトオフィスを設置を検討する企業を誘致。

➤ **ベンチャーファンドの研究**

ファンドの活用により、市内ベンチャー企業の成長支援や市外からのベンチャー誘致につなげ、ベンチャーが集積する「浜松バレー」の実現に向けた仕組みづくりを研究。

＜事業内容＞

- ・地域企業へのニーズ調査、地域金融機関へのヒアリング調査
- ・国、他自治体、産業支援基幹が実施するベンチャー支援政策の調査研究
- ・本市の特性を活かしたファンド制度研究

➤ **IT人材育成・確保事業**

IT人材を育成し、市内企業へのマッチングすることで、新たな市場獲得や新製品開発を加速させるとともに、IT人材のストックを強みとして、ベンチャー企業の誘致につなげる。

＜事業内容＞

- ・IT人材育成講座
- ・IT人材獲得支援事業

➤ **ベンチャー企業集積のための情報発信事業**

「ベンチャーのまち浜松」のブランド化。

＜事業内容＞

- ・ウェブメディアを通じたベンチャー支援の取り組みを発信

➤ **ベンチャー企業のネットワーク構築支援**

ベンチャー企業にとってビジネスしやすい環境づくり。

＜事業内容＞

- ・市長とベンチャー企業との意見交換等の開催

➤ **浜松やらまいか自動運転プロジェクト**

スズキ、遠州鉄道、SDドライブ（ベンチャー企業）と連携。

＜事業内容＞

- ・自動運転技術を活用した地域課題の解決

➤ **はままつ起業家カフェでの会社設立支援**

浜松商工会議所に設置している創業支援総合窓口。

＜事業内容＞

- ・各種セミナー開催
- ・会社設立支援補助金
- ・ものづくり創業支援補助金

➤ **はままつ首都圏ビジネス情報センター**

浜松市東京事務所内に H28.4 設置。

＜事業内容＞

- ・ベンチャー企業誘致
- ・ベンチャーフォーラムの開催

### (3) 外国人材の活用について

#### 現状

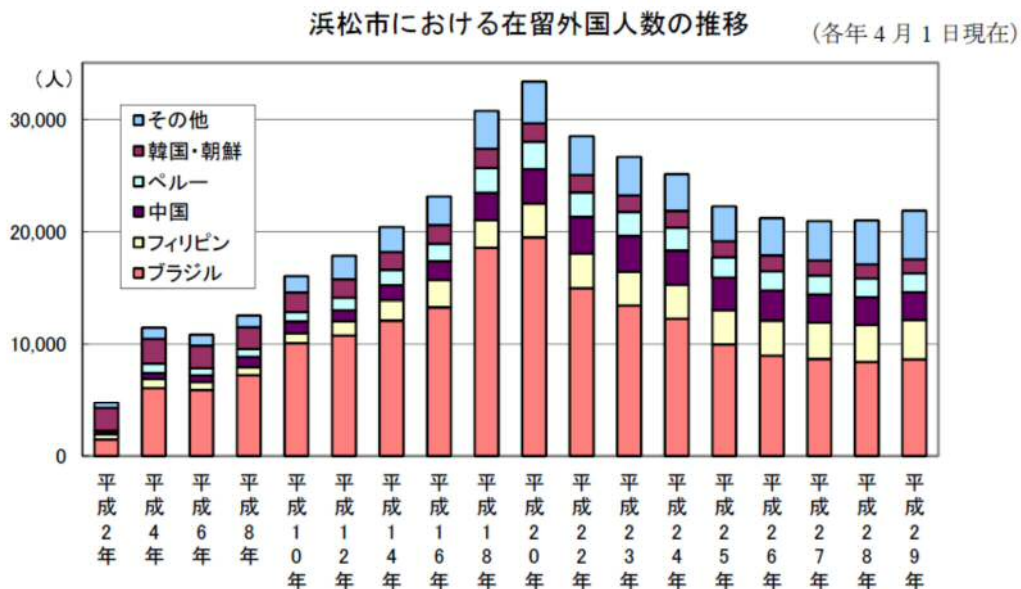
- 平成 29 年 6 月 1 日現在、浜松市の住民登録人口は 806,731 人であるが、そのうち外国人市民は 22,208 人であり、総人口の 2.75% を占めている。
- 本市は全国で最も多くのブラジル人が居住しており、2020 年のオリンピック・パラリンピックに向けて、ブラジル選手団の受け入れなどに取り組んでいる。
- 外国人市民の定住化が進み、外国人市民も日本人市民と同様に地域の一員として地域における役割を担うことや活動への参加が求められている。
- 平成 28 年 11 月に欧州評議会が主催する世界最大の民主主義の祭典である「世界民主主義フォーラム」へ参加し、本市の多文化共生の取り組みは高く評価された。
- 日本では人口減少時代に突入し、構造的な人手不足が懸念されており、政府は積極的に外国人材を活用する方針を打ち出している。

#### 意見交換において、ご提案、ご議論いただきたいこと

- 外国人集住都市会議の開催をはじめ、多文化共生のまちづくりをリードしてきた本市として、人口減少社会の到来による構造的な人手不足が懸念される中、外国人材が地域の経済活動において活躍し、また地域の一員としての役割を担うため、どのようなことを発信できるだろうか。

#### ◆浜松市における在留外国人数の推移（H2～H29）

- ・日系ブラジル人を中心とした南米系外国人が平成 2 年の改正出入国管理及び難民認定法の施行により急増。
- ・経済不況や自然災害等の影響もあり、外国人市民数は 2008 年末をピークとして南米系外国人を中心に減少に転じる。
- ・その一方で、定住化は確実に進行している状況であり、アジア諸国からの外国人の割合が増加する傾向にある。



出典：平成 29 年度 国際課業務概要（浜松市）

## ◆国籍別人口 (平成 29 年 6 月 1 日現在)

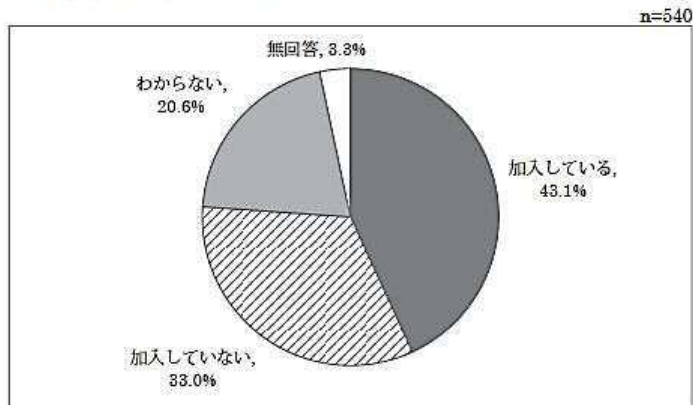
No.	国籍	人数
1	ブラジル	8,726
2	フィリピン	3,543
3	中国	2,461
4	ベトナム	1,935
5	ペルー	1,695
6	韓国	1,198
7	インドネシア	770
8	その他(76国)	1,880
	<b>合計(83国)</b>	<b>22,208</b>

出典：住民基本台帳

## ◆外国人の自治会加入状況

26 自治会(町内会)に加入していますか。

図 25【自治会(町内会)への加入】



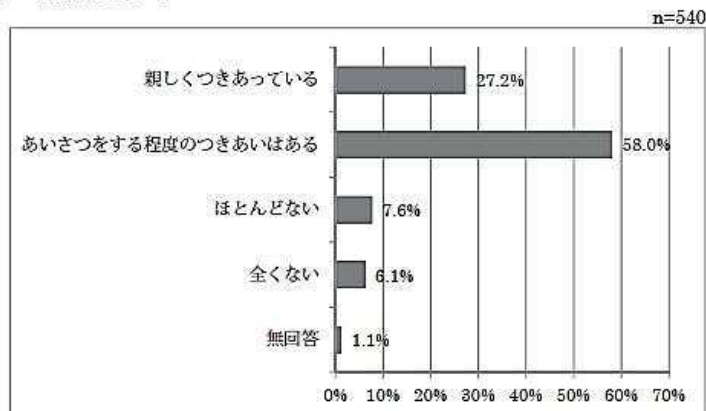
- ・「加入している」が43.1%で最も多く、「加入していない」は33.0%である。
- ・「わからない」と回答した者は20.6%であった。

出典：浜松市における日本人市民及び外国人市民の意識実態調査報告書(平成26年12月)

## ◆近隣の日本住民との付き合い

27 近隣の日本人住民との付き合いはありますか。(〇は1つだけ)

図 26【近所付き合い】



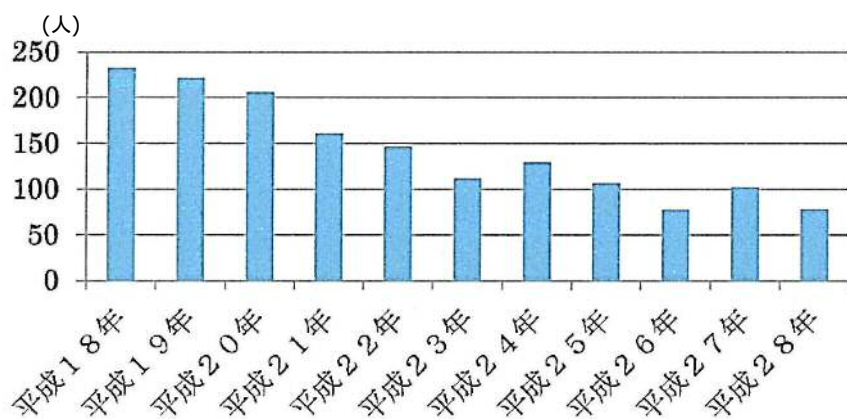
- ・「親しくつきあっている」が27.2%、「あいさつをする程度のつきあいはある」は、58.0%であり、日本人住民との付き合いがあると答えた者が多かった。他方、「ほとんどない」は7.6%、「全くない」は6.1%であった。

出典：浜松市における日本人市民及び外国人市民の意識実態調査報告書(平成26年12月)



### ◆来日外国人犯罪検挙人員の推移

・浜松市内の来日外国人検挙人員は年々減少傾向にある。



出典：静岡県警察作成資料

### ◆大都市（東京都区部及び政令指定都市）の犯罪発生状況

- ・本市は、推計人口一人あたりの犯罪認知件数が0.67%と低く、比較的犯罪の少ない都市である。
- ・また、外国人住民数あたりの犯罪認知件数は、都市間で大きくばらつきがあることから、外国人住民数と犯罪・治安は直接的に因果関係がないことが分かる。

都市	【A】犯罪認知件数 (件)	【B】推計人口 (人)	【C】外国人住民数 (人)	【D】外国人住民数 [ブラジル人] (人)	【E】犯罪認知件数 / 推計人口 (人)	順位 (参考)	【F】犯罪認知件数 / 外国人住民 (人)
					A ÷ B		A ÷ C
札幌市	17,529	1,953,127	10,314	60	0.90%	13	169.95%
仙台市	9,740	1,083,102	11,298	79	0.90%	12	86.21%
さいたま市	12,446	1,265,685	19,433	321	0.98%	11	64.05%
千葉市	11,476	972,322	21,894	373	1.18%	6	52.42%
東京都区部	110,071	9,287,360	378,642	1,999	1.19%	5	29.07%
川崎市	9,495	1,477,092	32,975	726	0.64%	20	28.79%
横浜市	23,668	3,725,758	81,424	2,291	0.64%	21	29.07%
相模原市	5,293	720,970	11,449	302	0.73%	17	46.23%
新潟市	6,724	810,051	4,950	72	0.83%	15	135.84%
静岡市	5,072	704,722	8,170	557	0.72%	18	62.08%
浜松市	5,316	798,035	20,923	8,464	0.67%	19	25.41%
名古屋市	31,628	2,297,794	67,693	3,609	1.38%	3	46.72%
京都市	15,934	1,476,126	41,609	132	1.08%	9	38.29%
大阪市	57,807	2,692,960	120,544	883	2.15%	1	47.96%
堺市	11,972	838,934	12,480	327	1.43%	2	95.93%
神戸市	17,687	1,537,884	43,886	356	1.15%	8	40.30%
岡山市	7,186	719,985	10,467	260	1.00%	10	68.65%
広島市	9,828	1,194,625	16,470	445	0.82%	16	59.67%
北九州市	11,052	960,864	11,618	24	1.15%	7	95.13%
福岡市	20,033	1,541,491	29,883	91	1.30%	4	67.04%
熊本市	6,370	741,117	4,637	17	0.86%	14	137.37%

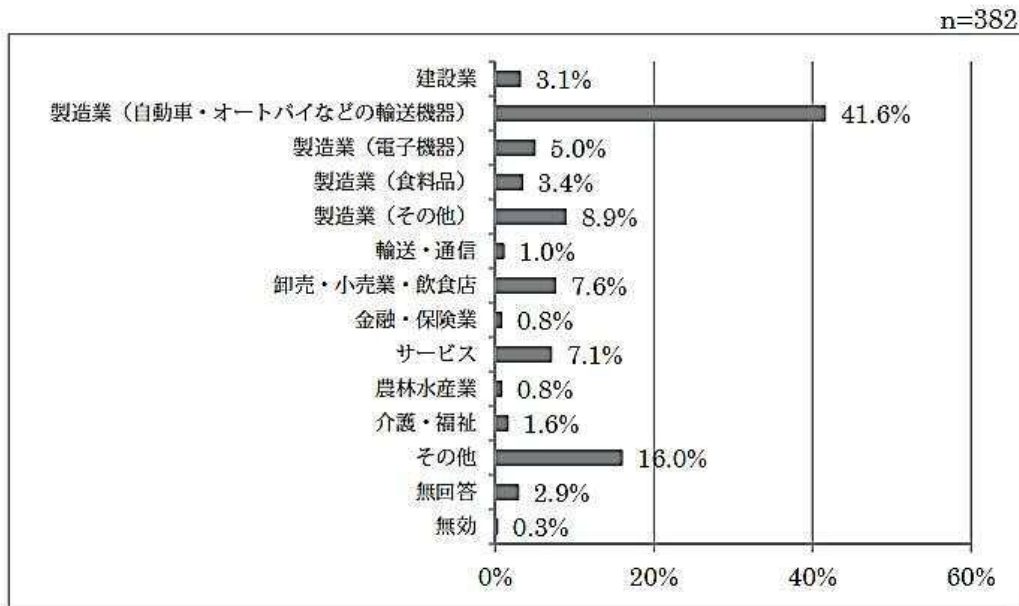
※出典：大都市比較統計年表を元に加工（浜松市独自計算）

- ・犯罪認知件数は、犯罪統計結果による各市（都）内警察署管内の平成27年の数値
- ・推計人口は平成27年12月1日現在
- ・外国人住民数は平成27年12月末現在

◆働いている会社の種類（本市の外国人）

17 働いている会社の種類は、次のどれにあたりますか。（○は 1 つだけ）派遣や請負などで会社に派遣されている方は、派遣されている会社の種類をお答えください。

図 16【業種】



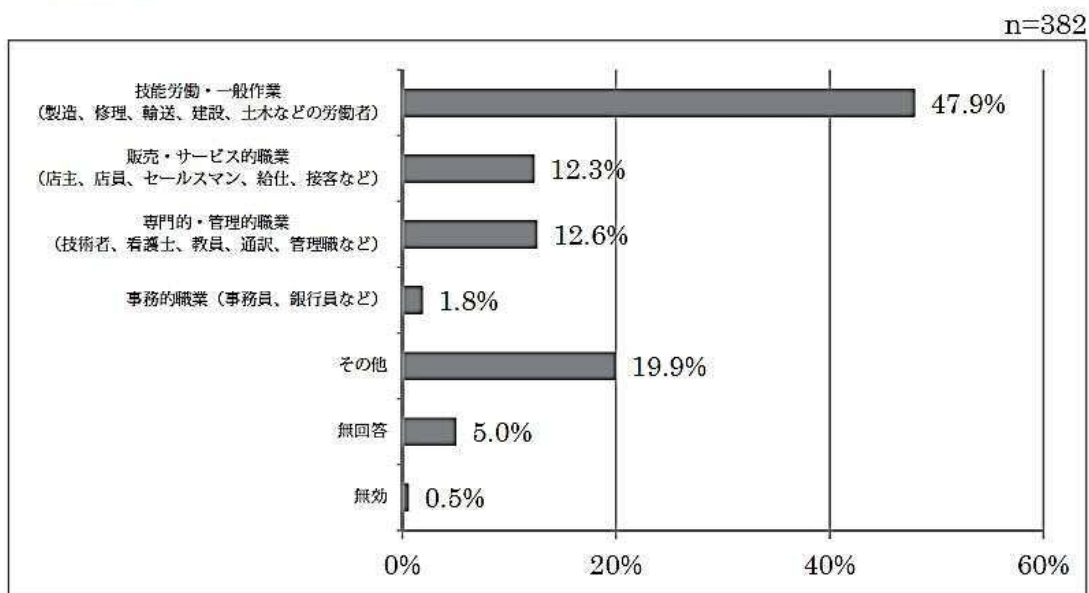
- ・製造業（自動車・オートバイなどの輸送機器）で働く者が、41.6%で最も多い。
- ・その他の製造業もすべて合計すると、全体の 6 割近く（58.9%）を占める。

出典：浜松市における日本人市民及び外国人市民の意識実態調査報告書（平成 26 年 12 月）

◆仕事の内容（本市の外国人）

19 仕事の内容は、次のどれにあたりますか。（○は 1 つだけ）

図 18【職種】



- ・「技能労働、一般作業（製造、修理、輸送、建設、土木などの労働者）」が際立って多く 5 割近く（47.9%）である。

出典：浜松市における日本人市民及び外国人市民の意識実態調査報告書（平成 26 年 12 月）